12 アガサ・クリスティーの失踪 (2) [歴史] (84 words)

But ironically /	the incident	made	her	a best-selling novelist.
逆接	S	V	0	С

☑ 内容Check!

問 次の各文が正しければ () に○を、誤っていれば×を記入しなさい。						
1. Agatha was very pleased when she saw her husband for the first time after her disappearance. (
2. It was ironic that the incident made Agatha a best-selling novelist. (
3. Her next novel, <i>The Big Four</i> , sold much more than her previous books.	(

❖覚えておきたい表現

■ to one's surprise「~が驚いたことに」

ℓ.1: **To his surprise**, ... 「彼が驚いたことに…」

・my, his, their などの所有格代名詞の後ろに, surprise, joy, disappointment などの喜怒哀楽を示す語をつけて「~が驚いた〔喜んだ;がっかりした〕ことに」という意味を表す。

Ex. **To their great surprise and joy**, their missing dog came back safe. 「彼らが大変驚き喜んだことには,行方不明だった犬が無事に帰ってきた。」

■ due to ~ 「~による; ~のせいで」

 ℓ .3:He thought she had suffered a memory loss **due to** stress. 「彼は,彼女がストレスによる記憶喪失になってしまったのだと考えた。」

・due to \sim は「 \sim による; \sim のせいで」などの意味。because of \sim , owing to \sim などで書き換えることができる。

Ex. She was absent **due to** an allergy to pollen. 「彼女は花粉アレルギーのせいで欠席した。」

■ X times+as+原級+as ~ 「~の X 倍…」

 ℓ .7: Her next novel, *The Big Four*, sold 9,000 copies, more than **twice as** many **as** any of her previous books. 「彼女の次の小説の『ビッグ 4』は,彼女がそれ以前に書いたどの著書と比べても,その売上部数の 2 倍を上回る 9,000 部を売り上げた。」

・twice as many as \sim は「 \sim 02倍(多い)」という意味。「3倍」は three times となり,3倍以上の倍数は X times で表す。これらに as +形容詞〔副詞〕の原級+as \sim を続けると「 \sim 0 X 倍…」という倍数表現に なる。

Ex. Australia is about 20 times as large as Japan. 「オーストラリアの面積は日本の約20倍である。」

・copies は、本、雑誌、CD などを数えて「(同じものが)…冊、部、枚」と言う時に使う。9,000 books とすると違う種類の本が9,000冊ということになってしまうので注意。

Ex. I need six copies of today's paper. 「今日の新聞が6部ほしい。」

整理しよう!*段落要旨·構造*

●アガサが発見された状況

- 夫がアガサに会いに行った。
- **♦** ℓ.2 **however** 「しかし: 逆接」
- アガサは夫がわからないかのような態度。
- ・夫は、ストレスによって記憶喪失になったことを疑った。
- 2 発見後のアガサ
 - ◆ ℓ.5 **In fact「実際には:主張」**
 - ・この失踪事件後,アガサ夫婦は離婚。
- ◆ ℓ.6 But「しかし:逆接」
- ・皮肉にも、この事件のおかげで、彼女の本はベストセラーになった。

背景知識

●失踪事件のインパクト

1926年のアガサ・クリスティーの失踪事件は、イギリス中を騒がせる一大事件となった。アガサの捜索を担当したバークシャー警察は失踪広告を出し、サリー州警察は大がかりな捜索を行った。サリー州警察の大捜索では民間ボランティアが協力し、参加者は2,000人以上にものぼったとされる。こうした地方警察に限らず、通称「スコットランドヤード」とされるロンドン警視庁も独自に捜索を行ったため、デイリー・ミラー紙などの主力新聞紙がクリスティーの発見後の様子まで含めこの事件を大きく取り上げることにもなった。

アガサ・クリスティーの失踪事件は当時の社会事件として方々から反響を呼び、ついには「スコットランドヤード」がこの失踪事件捜査のために支出した費用の額が英国議会下院で質問されることにもなった。ちなみに「シャーロック・ホームズ」シリーズを手がけた大作家サー・アーサー・コナン・ドイルも一連のアガサの捜索に関わったが、ドイルは自分が凝っていた霊媒の力で彼女の行方の手がかりをつかもうと、霊媒師に彼女の手袋などを見せたとも言われている。

深めたい人に]: ジャレッド・ケイド著,中村妙子訳『なぜアガサ・クリスティーは失踪したのか?』(早川書房,1999年)、『アガサ・クリスティー 謎の失踪 失われた記憶』(DVD,ハピネット・ピクチャーズ,2004年制作,イギリス)